

なごやぬいぐるみ病院@虫歯企画活動報告書

文責 藤田保健衛生大学医学部 2年 吉田 慈

概要

実施日時：平成 23 年 6 月 18 日 10:30~15:20

実施場所：あいち小児保健医療総合センター(愛知県大府市)

対象：

32 病棟（心療内科） 小学～中学生 10 名

22 病棟（外科系；外科・形成・泌尿器・眼科・耳鼻科） 11 か月～5 歳 ? 名

21 病棟（循環器内科・心臓外科・神経科） ? 6 名

23 病棟（整形・感染） 5 歳 2 名

31 病棟（内科系：腎臓・予防科・アレルギー・内分泌・脳外） ? 10 名

学生参加者：21 名(うち既往未提出 1 名)

大学名	一年	二年	三年
名古屋大学	1 人	0 人	0 人
名古屋市立大学	5 人	3 人	3 人
愛知医科大学	3 人	0 人	3 人
藤田保健衛生大学	0 人	2 人	1 人

当日の流れ

10:00~10:30 体温測定、説明等

10:30~11:00 32 病棟での保険教育

11:10~11:40 22 病棟

13:30~14:00 21 病棟

14:10~14:40 23 病棟

14:50~15:20 33 病棟

15:20~14:00 今日行ったことの復習、あとかたづけ

保健教育の内容

今回、虫歯について保健教育を実施した。

<テーマを選んだ背景>

今回、向こうから「虫歯予防デー」に伴って、何かイベントをしてほしいという依頼があったので。

<この健康教育を通してどの様になって欲しいか>

虫歯になってしまうとどのような恐ろしいことが起きるかを子供たちに知ってもらい、歯磨きの重要性を理解してもらいたかった。

<方法>

すべての病棟において、人形劇を行った。(虫歯患者の A 君、付き添いの B,C 君、歯医者さんの D 先生、看護師の N 先生)

小学生以下の子供しかいない病棟よりも、中学生の子もいる病棟の方が劇の内容が少し難しくなっている。

<その方法を選んだ理由>

病棟内ということもあり、体の大きな学生が何人も動けるような部屋がないだろうということを考慮して、人形劇という形にした。

総括

◆よかった点

- ・劇の内容
- ・台本人数分印刷

反省・改善点

◆運営面の反省

- ・病気の子に対する知識不足
- ・保育園と同じ感じで臨んだ
- ・直前に変更点が多かった
- ・準備の手抜きがあった(背景が薄くて見にくい、お医者さんの白衣)
- ・ボランティア保険 二重徴収
- ・物資が足りない
- ・お金が無い
- ・作ったもの置き場確保…HIAMU に部室できたらいい★
- ・情報共有不足 おりばーが一人で処理していた
- ・第三者のダブルチェック
- ・台本読み合わせを実際にやる時間が足りなかった
- ・当日昼休みにやったレベルの、全員入っての本番になった練習が事前ほしい
- ・練習の時に講師(プロ)を呼ぶ…プロじゃなくても教育学部の学生

- ・ひとりひとりの体調管理ができてなかった

- ・体温測る、せきがある

- ・到着が遅れて始まる直前のあたふた

- ・既往未確認の人がいた。

- ・「健康な人と同じ」と言われたが、相手に合わせた対応が必要

- ・病棟の情報 何歳くらい？何科？注意点（耳が聞こえない、目が見えない）

→今回知ったことを共有しておく

- ・人形劇がはじめてだった

- ・数回後にはもっともっとよくなる！！今回のミスは、次直せるものじゃないか？

- ・メーリスを見逃しがち

- ・「病院特有のこと」を甘く考えていた

- ・今回の直したいことを次の機会に必ず共有できるように！

- ・タクシーの予約しておくべき

- ・人数が多くなると先導が必要、誰が先導するかと最後は誰かとか決める

- ・部屋の中の下見が足りない 開放的か？ 机はあるか？ どんな机か？ 声を通るか？
などの事前情報を。

- ・遅れるのは迷惑

- ・練習不足が目立った

- ・リーダーおりばーのみだったのがきつい、つつこみをしてくれる人（サブリーダー）ほしい

- ・リーダーが仕事をふれるように

- ・その時々で、対象になる子どもたちのデータを皆に共有する

- ・シフト表・ひと・内容の変更は伝える

- ・当日帰った人がいた 担当が変わったという変更点を全体に共有しなかった

- ・製作するときに備品（はさみや色ペンとか）が無かった

→備品持ち運び担当のひとを置く？

→名市大・名大に両方置いておく@必要道具・場所

- ・準備期間に集まる人数が少なかった

- ・歯は凝ったものを作れたが、同じように劇の方ももっと磨けたらと思う

- ・各自練習（観客いない）よりも、リハ（観客いる）をやるべき

- ・一人一役にしたほうが伝達楽だし効率的

- ・役の様々な注意、やり方を統一するのが難しかった

→役ごとにリーダーを作ると伝達スムーズ

- ・一緒にやるグループが同じ人の方がコミュニケーションとれる
- ・本番を準備で待っている人が見に行けたらよかった
- ・実施後のひとたちがフィードバックをこれから行く人たちに伝えるべき
- ・当日の動きや用意してほしい備品を先方に伝える（その前に使えるものを聞いておけばよかった）
- ・ぬいぐるみなども借りられたことを知らなかった

- ・ひとりが仕事を抱え込まずに仕事をふればよかった（仕事をふってもらえて嬉しかった）

- ・図書館のおはなし会にいこうと思った！
- ・子どもたちの番組を研究する会
- ・ちょーすけのコメント欄をうまく使おう（今いそがしい、今回ひまだよ…etc）

- ・おりばーが下見に行っていなかったと言ったが、下見に行った子はいた（会場の様子を写真で写すなど共有すべき）

- ・写真や図、使える備品をみながイメージできるように伝える努力
- ・全体をすべて通してやってみる
- ・こちらで準備するものをリストアップ
- ・リーダーの負担を軽減するには？
- ・授業期間であるからこそ助けあわないと！
- ・事前にうちらがやりたいイメージを伝える手段がほしい（直接行くのがベスト、写真、ビデオ）

- ・今回の反省は新しい場所に行く時の注意にしよう！！

- ・目が見えない、耳が聞こえない子たちへの対応は？

→雰囲気は楽しめるんじゃないか！

- ・リスクテイキング→例えば欠席者への対応を事前に考えておけ

- ・おりばーに仕事をまかせすぎ

- ・直前までわからないことが多すぎた

- ・相手とスムーズに連絡

- ・前日の見本がクオリティ低い

- ・当日決定なるべく避ける、準備できるものは事前に

- ・練習日に集まりが悪い

- ・保健教育の台本がまとまってみやすいといい

- ・保健教育をやるにあたっての引き継ぎ書（決めるべきこと、時期）

- ・保健教育一覧表をつくる（大きな項目だけ見える）
- ・フィードバックでやった部分を文章化して次世代が使えるように

<愛知医科事情>

- ・名大、名市大の企画に便乗している状況？
- ・土日の準備は行けるが…平日の放課後は地理的に厳しい！
- ・部室に備品置けるが
- ・なごやぬいの人仕事ふりにくい存在
- ・愛知医科のひとを取りまとめる責任の所在があいまいだった
- ・今後どうゆうふうに関わるか！？
- ・関わっていききたい気持ちと関わり方がまだ話し合い中だよ

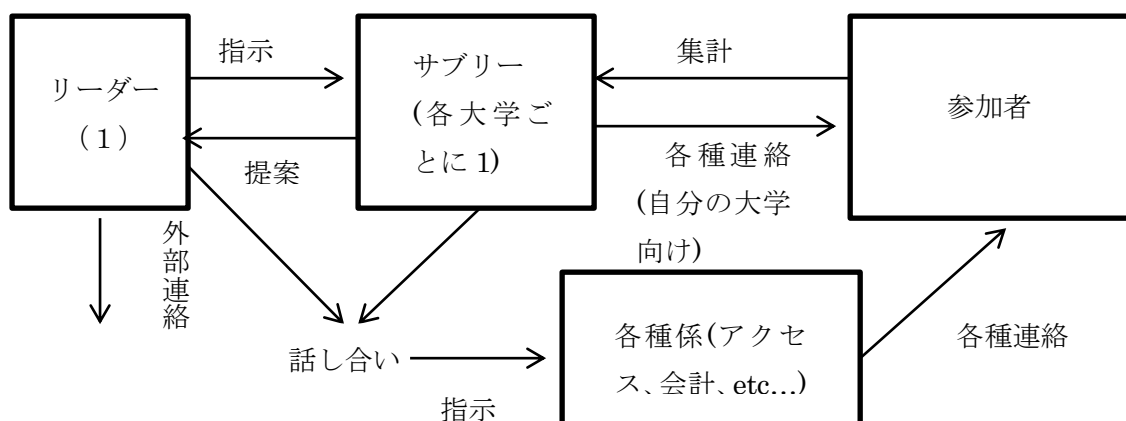
<会計のこと>

- ・会計改革がほしい→ちまちま黒字はあるけど、大きい物資が買えない
- ・会計報告が不透明 ちゃんと毎回出した方がいい
- ・イベントごとに会計をまとめる人がいてもいいよね
- ・現在の利益は？
- ・勉強会と実施の会計の仕組みが別々
- ・イベントごとの お金は何に使われたか？誰が払ったか？をデータでまとめて共有
- ・会計フォーマットをつかって、イベントごとに担当決めて（責任者が任命）、報告書をあげて、お金を総会計に渡す

◆これからのイベントに向けて

(1) 仕事配分をする

- ・コンタクトパーソン（先方とのメールの送受信）@リーダー
- ・既往歴作成→病院のみ
- ・出欠管理
- ・メーリス連絡受付@サブリーダー
- ・大学ごとに責任者（総リーダー1、サブリーダー3が意見を集める）



- ・当日の先導係（アクセス）
- ・アンケート（学生、先方、対象）
- ・報告書+報告パワポ
- ・会場下見
- ・備品（名大と名市大） →将来的に4大学合同にするのかどうかは引き継ぎ前までに
- ・日程調整
- ・イベント会計
- ・打ち上げ
- ・写真 チェック入るのでひとりのカメラで！ネット上げるところまで！
- ・趣意書（to 先方）
- ・通知文（to 保護者）
- ・お礼状

（2）準備の質を上げる

- ・仕事配分の担当&期限決めをするミーティングを開く（早め！デフォは2カ月前）
 - ・準備日程を先に提示する（1カ月前までに）
- 行かなければならない日とそうでない日を伝える
- 全体リハの日をつくる
- ・いつまでに何が完成してるかの行動計画を決める、共有（締切一覧表）
 - ・その日何をするかを定める、共有（予備日も決めておく）
 - ・参加者の把握
- 集まり前日夜に翌日の予定、参加者の確認をメーリスする

（3）先方ヘリサーチをする

- ・使わせてもらえる、借りられる備品
- ・何歳
- ・性別
- ・何人
- ・こちらの実施内容に対するリアクション
- ・教育の特徴（どんなプログラムを受けているか？）
- ・何科、病状、症状など配慮すべきこと→病院のみ
- ・やらせてもらう場所の写真
- ・会場平面図と広さ
- ・学生側の注意（服装、行動、衛生）
- ・都合のいい日時
- ・受け入れられる学生人数

・控室の有無と様子（着替えはできるか？）

◆野望…(^O^)/

ポロシャツつくったるでー！！

なごやぬいのロゴもつくったるでー！！

アンケート結果

方法；

活動に参加した学生に対し紙面にてアンケートを行った。

学生総数は20名で、今回は計16名から回収（回収率80%）

◆良かった点

劇をする学生の班が少人数だったのがよかった

キャラクターを用いたのはよかった

内容はよかったと思う

子供の人数が多かった

◆改善点

導入（手遊びなど）が欲しかった

声が小さい

人形劇だと子供の顔が見えなかった

内容を理解できてなかったと思う

何をしているのか分かりづらかった

病棟によって子供の性格が変わることを考えてなかった

◆参加人数について

今回の人数でよかった…14人

4, 5人がいい…1人

5人がいい…1人

◆十分な準備はできたか？

はい…0人

いいえ…16人

◆全体的に見て

練習参加が少なかった
下見+シミュレーション不
小道具準備不足
顔合わせ足りず
練習にこない人は見学のみにするべき
長期休み中でなかったのに練習に参加しづらかった
中途半端のできを許す雰囲気があった
プロからのアドバイスが欲しかった
子供の現状を知るべき
各役ごとの動きを統一したかった

◆子供たちの反応について

事前に交流するなどである程度子供の緊張を取ることが必要
どんな子供（年齢、病状など）がいるのか考えてなかった
机の下にいたので子供の顔が見れなかった
最後は若干飽きていた
既知のキャラは効果的
子供は一人でも参加してくれればみんな乗ってくれるようになる
なかなか返事がもらえない
一度は反応無くても何度か問いかけているとよかった
視線が定まっていなかった

◆その他の意見・感想

オリバーありがとう！！
つぎはもっと参加します！
勉強会で相手への見せ方についてやった方がいいと思う。
もっと下の子に仕事を割り振っていいと思います。
事前の練習で、それぞれの人にしっかりとやり方を伝えておくといいと思います。
シフト表を変更したら、すぐに全員に周知（口答、メールなど）
Taxi は事前に予約できたはず。
「せーの」で答えを求めるときに答えの札をゆっくりと上げていけば、言い出しやすいかもしれない。
一緒に遊ぶ時間を設けた方がよかったと思います
雰囲気を楽しむような子のために、童心に戻ってテンション楽しめに進めていくべき。